

キックオフミーティングでシステム開発部の意識変革を試みるとともにメッセージを発信



やりがいのある職場へ、ボトムアップで取り組む。一つの部署のチャレンジ

北陸電話工事株式会社

働き方改革の必要性を社員と共有

北陸電話工事は電気通信設備工事を主な業務とし、情報システム本部システム開発部(以下、システム開発部)では情報システムの提案・開発等を担当する。街道浩彰システム開発部担当課長は、近年、現状の社員の働き方、働く目線に危機感を持ち、「社員がもっと主体的に業務に取り組む組織風土に変えていく必要があると感じていた」と話す。

一方、会社としても同様の経営課題を認識していたことから、働き方改革を積極的に推進しようと考え、昨年度の「働き方改革実践講座」に参加。参加した総務部の担当者も、働き方改革が同社の経営課題を解決する手段となることを確信し、総合アドバイザーの渥美由喜さんによる経営層及び全管理職向けの社内働き方改革研修会を企画・開催。街道担当課長も参加し、「働き方改革は残業削減を目指すものと考えていたが、『本質は組織風土を変えること』と分かり、現場もこの流れに乗って前向きに取り組むべきと気付いた」と話す。そして、システム開発部でも取り組めることがないかを模索す



「働き方改革は社員と1対1で向き合うぐらいの覚悟が必要だと痛感している」と、街道担当課長。

るため、今年度再び講座への参加を決意した。

まずは、システム開発部が目指す理想の職場の明確化と現状の分析に着手することとし、2018年5月に部署内の働き方改革キックオフミーティングを実施。改革は一足飛びには成し得ないとして、理想と現状のギャップを社員と共有し、社員が「当たり前」と考えている無意識の部分を意識してもらうことから始めた。具体的には、「何のために働くのか」という根本的な部分の再確認を行い、「製販一体で顧客とより良い関係を築き受注を増やそう」、「会社のルールや慣習には改善点があることに気付こう」、「異業種交流会等へ参加する等、イノベーションにつながる新しい情報や気付きを得よう」等のメッセージを伝えた。

スローガンは「“みんなでつくる”前向きで明るい職場」

2019年1月からは、独自に実施する3つの施策を部署内へ発信。1つ目は、テレワーク制度の導入だ。大雪等の天災、家族の看護により出社が難しく、自宅で業務をしたい社員が利用できるもので、導入にあたっては、街道担当課長自ら会社及び組合と交渉した。すでに女性社員が、インフルエンザに罹った子どもに付き添うため、テレワーク制度を利用しており、初の試みに対する社員の反応も良好だ。

2つ目は、「チャレンジ」をキーワードとした独自の改善提案制度の開始だ。ど

んなに小さなアイデアでも、働きやすく明るい職場に繋がる内容であれば提案ができ、採用されたアイデアは、提案者を中心としたチームが予算を使って取り組むことができる。たとえ成果が出なくても、「チャレンジしたい」という意志やその努力を評価していく予定だ。

3つ目は、アイデアソンとレクリエーションを組み合わせた「夏キャンプ」の開催だ。アイデアソンとは、アイデアを生み出すための仕掛けを用意したイベントのことで、風通しの良い環境づくりや、社員個々のスキルが存分に発揮できる風土の醸成が狙いだ。さらにレクリエーションとして社員の家族を招待し、社員同士が職場とは異なる「素の姿」を見せ合って交流を深めることで、イノベーションの芽になるアイデアが出ればと期待を寄せる。「自分のアイデアが成功事例になれば、社員の意識は変わっていくと思う」と街道担当課長は話す。

システム開発部では、今後も部署独自の取り組みを推進し、「会社の未来は自分達で創る」という風土を少しずつ会社全体に広げていきたい考えた。

DATE

所在地 金沢市米泉町10-1-153

代表者 森 泰夫

設立 1949年

従業員数

430名(男:370名/女60名)

事業内容

電気通信工事、電気工事、コンピューター及びその関連機器による情報処理業務等